

米子市立山陰歴史館

歴史館だより

2024. 12. 20 vol. 12



歴史館のマスコットキャラクター
れきくん しーちゃん かんくん

企画展 再発見資料

～ガラス乾板に記録された戦前の米子～



石垣前の記念写真

タムラ写真館の干村廣三郎氏が戦前に撮影されたガラス乾板写真を中心に、関連資料を展示し、郷土の戦前の暮らしや風景を振り返ります。

会 期 1月26日(日)～3月30日(日)まで

開館時間 午前9時半 午後6時(午後5時半が最終入館時間です)

休館日 毎週火曜日 ※ただし2月11日(火)は開館

年末年始 12月29日(日)～1月3日(金)、2月12日(水)

会 場 米子市立山陰歴史館 1階第1展示室

観 覧 料 一般・300円(15名以上の団体1名250円)

70歳以上、大学生以下、障がいのある方(介護者1名含)は無料

主 催 米子市・米子市教育委員会・(一財)米子市文化財団

コラム 館長のつぶやき

歴史館友の会の研修に参加しました。一路鳥取を目指し鳥取市歴史博物館「やまびこ館」に到着。学芸員の丁寧な解説で施設を見て回りました。2000年(平成12)に開館した完全空調のやまびこ館と1984年(昭和59)に米子市役所旧館を再利用し、ストーブを焚く我が山陰歴史館の施設との落差に愕然としながら、新しがり屋の米子の気風と伝統を重んじる鳥取の気風との歴史文化の違いなのかと思ひ、ため息が出ました。



「やまびこ館」展示室

令和6年度の今後の主な展示と事業

事業名	内容・入館料・入館者数	開催日又は実施期間
常設展 米子城展、昔の暮らし展、 鉄道のまち 米子の歴史展 昭和の学校、弓浜絃展 開催中	国史跡米子城跡、尾高城跡、鉄道資料、民俗資料、昭和の学校、米子の遺跡など郷土の歴史を透して、人々の暮らしの様子を紹介しています。 観覧無料	通年・随時展示替
企画展 「いつもはしまっておいた民具展」	郷土の暮らしや産業を支えてきた民具や、それに関連する写真や資料を展示し、その歴史を紹介する。 観覧料：300円	10月27日(日)～ 1月13日(月・祝) ※関連事業：絃製作体験、唐箕体験など
館蔵品展 「再発見資料 ～ガラス乾板に記録された 戦前の米子」～ 共催：米子市埋蔵文化財センター 上淀白鳳の丘展示館	令和5年度に寄贈されたタムラ写真館コレクションのガラス乾板の米子市内各所の写真を中心に、郷土の歴史を振り返る機会とする。 観覧料 300円	令和7年1月26日(日) ～3月30日(日)

米子市立山陰歴史館



開館時間 9:30～18:00 (17:30までに入館)

休館日：毎週火曜日 祝日の翌日 12月29日～1月3日

〒683-0822 鳥取県米子市中町20番地

電話/0859-22-7161 fax/0859-22-7160

<https://yonagobunka.net/rekishi/>

E-mail:saninrekishikan@dear.net.jp [編集：小原]